
「核兵器のない世界へ」 NPT再検討会議にむけて ニュース

〒852-8107 長崎市浜口町6-5 木下ビル Eメール:nagasaki65@forest.ocn.ne.jp
電話・095・844・0705 FAX・095・844・0728 発行者 片山明吉

2月5日(木)～6日(金)日本原水協第81回全国理事会(総会)が東京でひらかれました。役員、中央団体、都道府県原水協から代表が参加、向こう一年間の活動方針を決定しました。NPT再検討会議までの14ヶ月、新しい署名を中心に旺盛な活動をすすめ、核兵器廃絶の展望を切り拓く諸活動に全力でとりくむ決起の会議となりました。



一日目午後、高草木事務局長が、2009年度運動方針案の提案をおこなった。つづいて、土田事務局次長からマレーシア原爆展、JMIU委員長が労働組合として平和運動をどのように位置づけ実践しているかについて特別報告。その後討論が行われた。

討論では、核兵器廃絶をめぐる情勢が、かつて経験したことのないような世界の動きが生まれていること。「今やらなきゃ～、やれば変わるんじゃない」という空気が広がって

いること。こうした変化を確信に多様で多彩な署名運動が全国各地でとりくまれている状況がリアルに報告されました。

新署名の取り組みとして、平和委員会が会員一人20筆、全労連が組合員一人5筆、100万筆目標、全日本民医連が120万筆目標など中央団体が団体目標と構成員一人5筆など具体的方針をもってとりくむ決意が述べられたのが印象的でした。これまで、新婦人や民医連が諸運動の推進役を担ってきましたが、今回、中央団体のなみなならぬ決意が示されたことは、新署名の重要な意義、2010年NPT再検討会議で「核兵器廃絶の明確な約束実行に道筋を～」の思いが込められたものです。中央方針を県段階でどれだけ行動に生かすかは、私たちの責任ではないでしょうか。

9日 6.9署名行動

2月9日平和公園で6.9署名行動にとりくみました。新婦人2名、年金者2名、事務局1名の5名。署名数は、一時間で157筆でした。今日は、若い家族連れの観光客、個人タクシーの運転手さんは、お客さんに「原爆をなくせ」という署名ですヨ。協力してください」とお客に薦める場面もありました。残された期間は14ヶ月。統一行動に加え、地域・職場での署名にも力を入れましょう。

